

取扱説明書

保管用

日立長時間定格形点滅形  
誘導音付避難口誘導灯

個別制御方式自動点検機能付  
(リモコン点検機能対応器具)

HITACHI  
Inspire the Next

日本国内用

YEN42701VXLEN (B級・BH形・片面灯)

器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。  
施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、  
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。  
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

|                                                                                                 |                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  絶対に行わないでください。 |  必ず指示に従い行ってください。 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|

|  <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに<br>結びつく可能性があるもの |                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
|  禁止                                              | 引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない)<br>(火災の原因) |
|                                                                                                                                   | この器具は屋内専用のため、風が吹く場所では使用しない。(使用すると器具落下の原因)                             |
|                                                                                                                                   | 器具取付けの際は電線を挟まない。<br>(絶縁不良により感電・火災の原因)                                 |
|  禁止                                              | 配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。<br>(絶縁破壊により感電・火災の原因)                           |
|  厳守                                            | 直射日光の当たる場所で使用しない。<br>(過熱による変色・変形・火災・火災の原因)                            |
|                                                                                                                                   | 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。                                   |

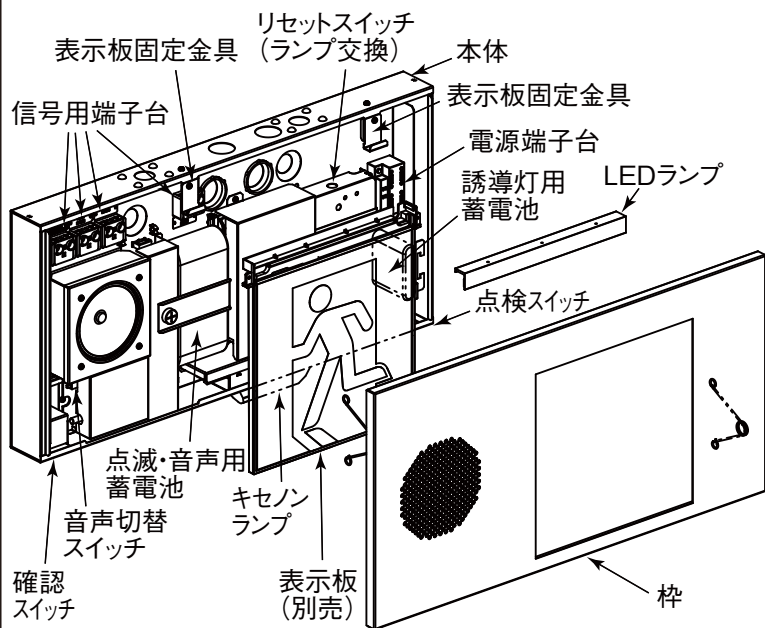
|  <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害または<br>家屋・家財などの損害に結びつくもの |                                                                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
|  禁止                                                 | 高温(35℃を超える)、高湿度(85%Rhを超える)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所<br>で使わない。(落下・感電・火災の原因) |
|                                                                                                                                       | さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所<br>で使わない。(劣化による落下の原因)                                 |
|                                                                                                                                       | 器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面<br>には取付けない。<br>(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)                 |
|                                                                                                                                       | 風呂場など水や湿気の多い場所<br>で使わない。(火災・感電の原因)                                         |
|  禁止                                                | 雨水のかかる場所<br>で使わない。(水気・湿気が入り感電の原因)                                          |
|                                                                                                                                       | 器具のロックアウトを外す場合はドライバー等により<br>電線を傷つけない。<br>(絶縁不良により火災・感電の原因)                 |
|                                                                                                                                       | 表示された電源電圧以外では使わない。<br>(火災・感電の原因)                                           |
|                                                                                                                                       | 狭い箱のような中で使わない。<br>(器具が過熱して火災の原因)                                           |
|                                                                                                                                       | 工場等での特殊環境(油類噴霧状態等)では、使用<br>できません。                                          |

| お願い                                                                  |                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| ■周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。                                              | ■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の<br>取付けは避けください。(蓄電池の寿命が低下する<br>ことがあります。)       |
| ■温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する<br>場所での使用は避けください。<br>光学特性等に不具合が発生することがあります。 | ■24時間以上充電していない場合は、ランプが正常に<br>点灯しない場合(立消え、点滅、点灯時間が短い)が<br>ありますのでご注意ください。 |
| ■電源を通電しないまま、蓄電池のコネクタをつないだまま<br>で放置しない。(過放電状態となり蓄電池の短寿命の原因)           |                                                                         |

| 仕様          |                        |
|-------------|------------------------|
| 平常時         | 定格電圧 AC100V            |
|             | 定格周波数 50/60Hz          |
|             | 入力電流 0.19A             |
|             | 入力電力 9.6W              |
|             | 使用ランプ LE20312S3W-A × 1 |
| 非常時         | 誘導灯用蓄電池 4.8V 600mAh    |
|             | 使用ランプ LE20312S3W-A × 1 |
| 火災信号<br>受信時 | 点滅音声用蓄電池 4.8V4000mAh   |

## 各部のなまえと取付けかた

⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う  
(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

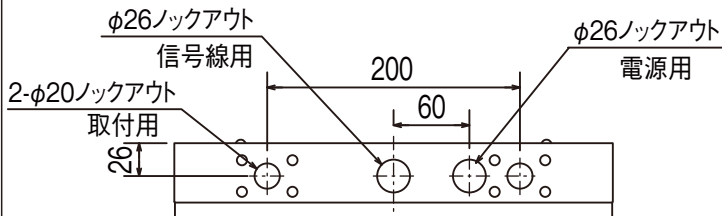


## 2 器具本体を取付ける

- (1) 枠を本体から引き出しばねを押し縮めばね受けから外す。
- (2) 使用する電源穴・取付穴のノックアウトを外す。
- (3) 電源穴、信号線用穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
- (4) 電源線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (5) 本体を取付ボルトに取付け、ゆるみ止め施工を確実に行う。  
(ゆるみ止め: ダブルナット・歯付座金・ばね座金など)

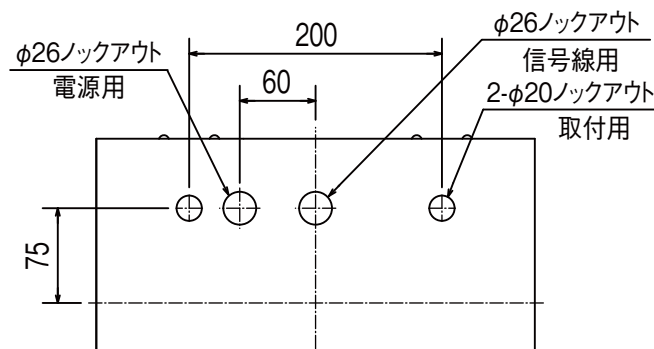
### <天井直付けの場合>

○下図の寸法を参考にして取付ける。(単位: mm)



### <壁付けの場合>

○下図の寸法を参考にして取付ける。(単位: mm)



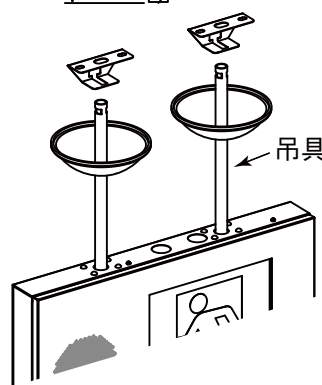
○本体取付時ボルトの長さは取付面より 30 mm を超えないようにする。

### <吊具使用の場合>

- 吊具 (JPC172 別売) を使用して取付ける。
- 1本の吊具内に電源線と信号線を設置しない。  
誤動作の原因となります。

### ⚠ 警告

1本吊りしない。  
吊具を2本使用し、  
確実に取付ける。  
(取付け不完全は  
落下の原因)



## 3 電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線の皮むき寸法は下図のようにする。

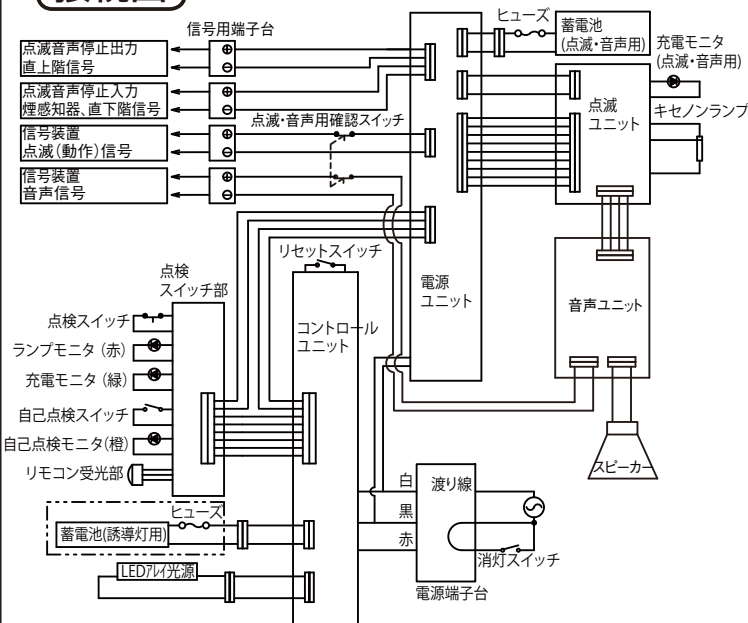


### ⚠ 注意

シースは 150mm 以上皮むきする。  
本器具は、電源線を収納するスペースが十分にありません。  
シースのむきが短いと収納スペースがなくなり、  
表示板が本体に装着できなくなります。

- (2) 電源線を電源端子台に確実に差し込む。電源線は器具の奥の方に押しつけるようにする。

## 接続図



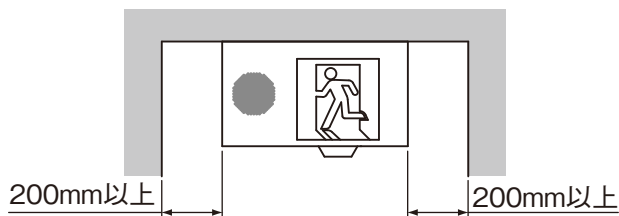
## 1 取付前の確認

- 器具質量(約 5.6kg)の 10 倍以上に耐えるよう  
器具取付部の強度を確保する。

### ⚠ 警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

- 取付工事のため下図のように器具の両側に 200 mm 以上の余裕を設ける。



**⚠ 注意**

電源線が浮き上がっていたり、乱雑に束ねていると、表示板の収納スペースがなくなり、本体に装着できなくなります。

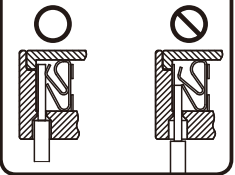
○電源端子台の容量は **20A** 以下です

**⚠ 注意**

接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因

○適合電線：φ 1.6mm 単線    φ 2.0mm 単線

接続状態



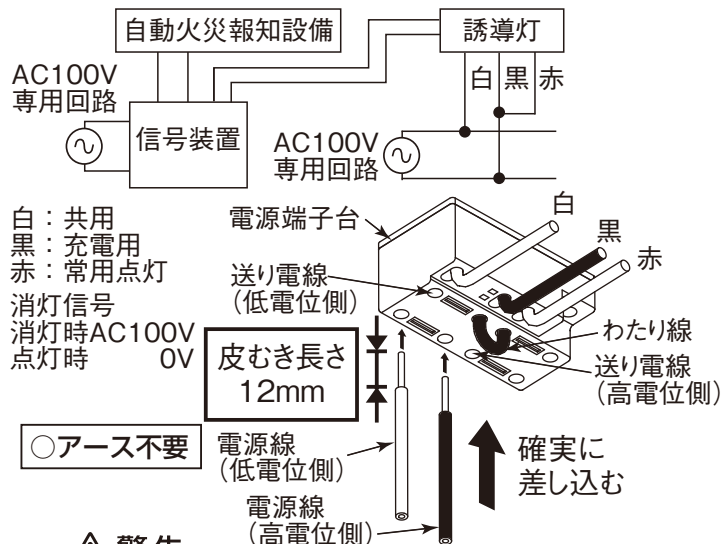
**警告**

送り配線は誘導灯専用とし、容量を確認して接続する  
(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

**警告**

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ電源端子台の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

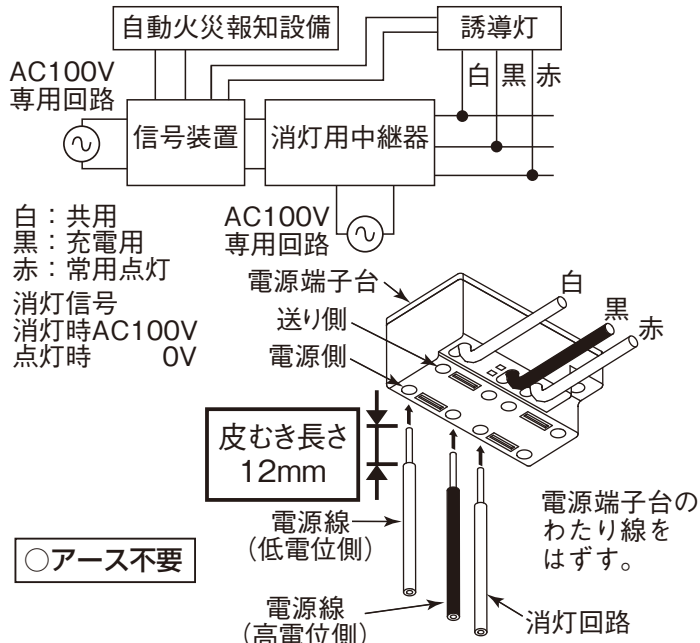
＜単相２線２線引き・平常時消灯しない場合＞



 **警告**

分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない

＜単相2線3線引き・平常時消灯する場合＞



誘導灯用信号装置等を用い、自動火災報知設備の動作と連動させてください。

○電源線を電源端子台から取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。

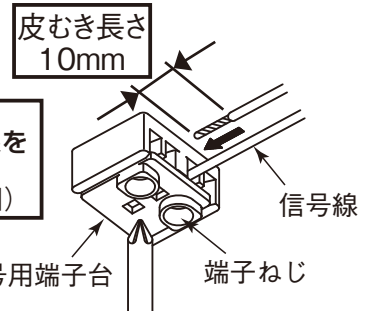
■誘導灯消灯システム使用の場合は信号装置取扱説明書を参照してください。

■平常時消灯する場合は所轄の消防署の了解を得る必要があります。

## 4 信号線を信号用端子台に接続する

○信号用端子台の端子ねじをゆるめ、信号線を極性に注意して確実に差し込んで端子ねじを締めつける。

○適合信号線  
：φ 1.2 mm以下

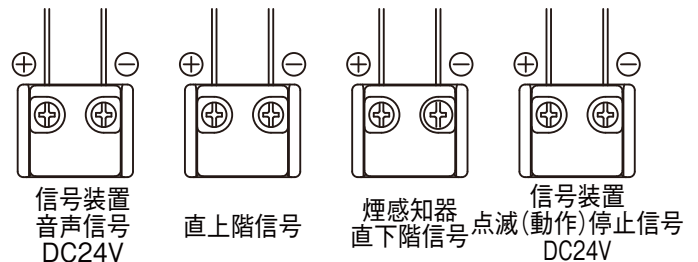


**警告**

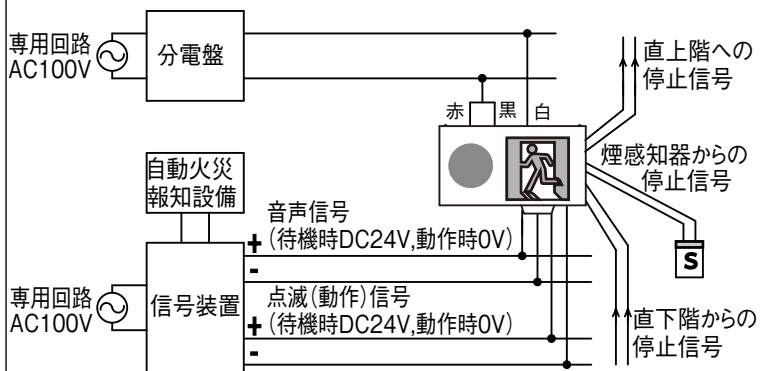
信号用端子台には電源線を  
接続しない  
(過熱・損傷し火災の原因)

接続が不完全な場合  
動作不良の原因と  
なります。

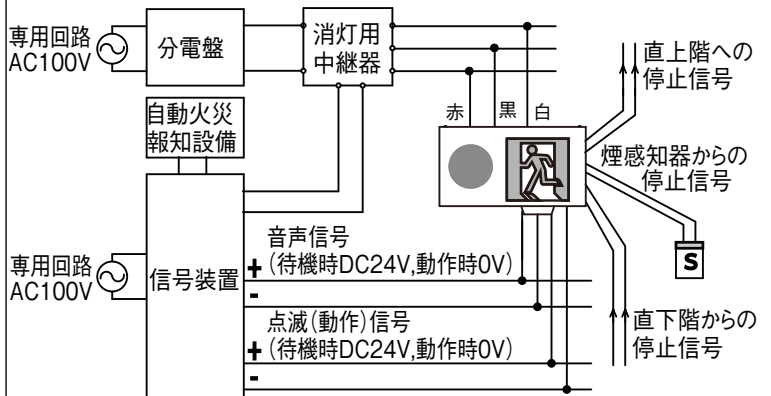
○信号用端子台はラベルの記載に従って結線する。



### A. 全館一斉に動作させる場合の例



### B.消灯させる場合の例



○信号装置の詳細は、個別の取扱説明書をご覧ください。



# お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

## 自己点検機能(誘導灯用)の使用方法

※点滅用(点滅・音声用)蓄電池の自己点検機能は有していないため誘導灯用蓄電池との同時交換をおすすめします。

- 自己点検機能を使用する前に以下の項目を確認してください。
- (1) 24 時間以上連続充電をしている(点検スイッチを押したり、停電等で電源が遮断されてしまった場合は自己点検に移行しません)
  - (2) 充電モニタが点灯している(蓄電池が正常に接続・充電されている)
  - (3) ランプモニタが消灯している(ランプが正常状態である)
- 上記項目を満足していない場合は、自己点検スイッチを操作しても自己点検機能に移行しません。

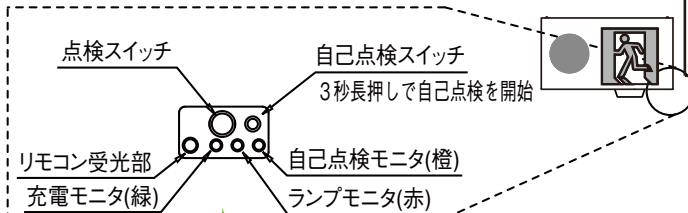
器具モニタ表示

| モニタ表示  | 点検モニタ(橙) | ランプモニタ(赤) | 充電モニタ(緑) |
|--------|----------|-----------|----------|
| 点検中表示  | ●        | ○         | ○        |
| 正常時    | ○        | ○         | ●        |
| 蓄電池異常時 | 寿命       | ○         | ●        |
|        | 外れ、破損    | ○         | ○        |
| ランプ異常時 | 寿命       | ●         | ○        |
|        | 外れ、破損    | ●         | ○        |

- ①器具本体の自己点検スイッチを 3 秒以上押す  
または  
リモコン(IRTZB01(別売))の自己点検ボタンを押す

- ②自己点検開始

- ③定格時間(60 分)後、自動で通常状態に復帰

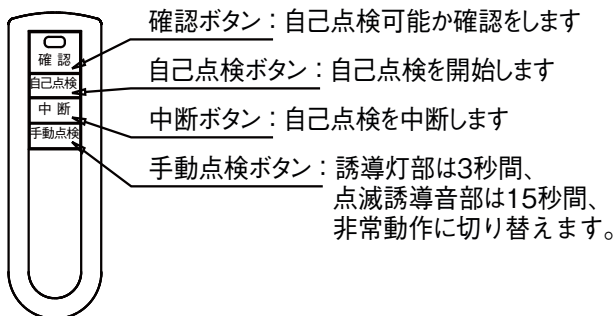


自己点検スイッチ：3 秒長押しで誘導灯部の自己点検を開始します。  
点検スイッチ：スイッチを押している間、非常点灯に切り替えます。  
自己点検モニタ：自己点検中である事、点検可能・不可をお知らせします。  
ランプモニタ：ランプの寿命、異常をお知らせします。  
充電モニタ：蓄電池が充電中である事、寿命をお知らせします。  
リモコン受光部：別売のリモコンの信号を受ける受光部です。

- 蓄電池容量が不足している場合は定格時間(60 分)経過前に点検結果を表示し、通常状態に復帰します。  
※点検の結果、蓄電池が寿命と判断された場合は速やかに蓄電池を交換してください。  
○ランプ異常については自己点検の操作に関わらず常時検出されます。  
○自己点検機能が動作中に、点検スイッチを押すことにより自己点検を解除することができます。

## 自己点検用リモコンの使用方法

### IRTZB01(別売)



※リモコンの使用方法詳細については、リモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

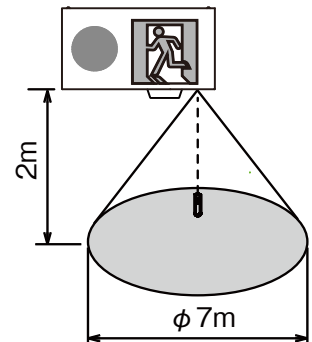
リモコンの確認ボタンを押したときの器具モニタ表示

| モニタ表示                   | 点検モニタ(橙) | ランプモニタ(赤) | 充電モニタ(緑) |
|-------------------------|----------|-----------|----------|
| 点検可能な場合(連続充電時間：24 時間以上) | ●        | ○         | ●        |
| 点検不可の場合(連続充電時間：24 時間未満) | ●        | ●         | ○        |

### 本体受光範囲

リモコンの操作は、点検を開始する器具の真下から受光部に向けて行ってください。

誤動作した場合は器具の真下より中断ボタンを押してください。



## 点検

- 6 ヶ月に 1 回、外観及び機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[消防庁告示第 3 号と第 14 号]

- 消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第 31 条]  
■ 24 時間以上充電後、非常動作持続時間が 60 分以下となったら蓄電池を交換する。

# 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、  
⚠警告、⚡注意の表示で区分して説明しています。  
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

|                                                                                                 |                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  絶対に行わないでください。 |  必ず指示に従い行ってください。 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|

|  <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの                                            |                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  禁止<br>器具の改造や指定部品以外の交換はしない。<br>(火災・感電・落下の原因)<br>器具やランプを布や紙などで覆わない。<br>(可燃物をかぶせて使うと火災の原因) |  禁止<br>器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。<br>(火災・感電の原因) |

|  <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  禁止<br>お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。<br>(火災・感電の原因)<br>ランプに塗料などを塗らない。<br>(ランプが過熱・破損してけがの原因)<br>器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。<br>(過熱して火災の原因) |  禁止<br>ランプを落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。<br> 厳守<br>安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。 |

## ランプ交換・器具の清掃 — ⚠警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因) —

### ランプ交換

適合 LED ランプ (ランプホルダ付) LE20312S3W-A

ランプ交換はランプホルダごとの交換になります  
ランプ交換を実施した後は必ずリセット  
スイッチを押してください。

- やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
- シンナー、ベンジン、磨き粉やたわし、熱湯、化学雑巾、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

### 清掃

 **警告**  
器具・ランプを水洗いしない  
(火災・感電の原因)

### ⚡注意

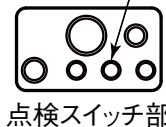
- 点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない (高温のためやけどの原因)
- ランプの電線を引っ張らない (ランプ破損の原因)

「ランプモニタについて」

- ランプモニタ (赤)  
ランプモニタの点滅は「ランプの寿命」をお知らせするものです。  
ランプの累積点灯時間が 60,000 時間 (ランプの寿命は約 60,000 時間 (約 7 年) です) に達すると赤色に点滅しますので、新しいランプと交換してください。

(注) ランプ外れ等の異常時にも点灯します。  
この場合は、ランプ破損、コネクタ外れがないか確認してからリセットスイッチを押してください。

ランプモニタ



点検スイッチ部

## 蓄電池の交換 — ⚠警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因) —

|     |        |        |
|-----|--------|--------|
| 蓄電池 | 誘導灯用   | 4N06DC |
|     | 点滅・音声用 | 4N40DC |

蓄電池は 4 ~ 6 年が交換の目安です。

蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。  
誘導灯用蓄電池を交換する時は点滅・音声用蓄電池も交換してください。



Ni-Cd

この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

### ⚠警告

蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない  
また、火中に入れない (やけどや衣類損傷の原因)

## 照明器具の寿命について

- 照明器具には寿命があります。設置して 8 ~ 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。

- 周囲温度が高い場合は寿命が短くなります。
- 3 年に 1 回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

## 保証とアフターサービス

■保証期間は商品お買上げ日より 1 年間です。ただし、器具内蔵の点灯回路は 3 年間です。ランプ、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

■この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

## 異常時の処置

### ⚠警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は直ちに使用を中止する。(火災・感電の原因)  
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

 日立アプライアンス株式会社

この説明書は、再生紙を使用しています。

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03) 3502-2111